

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	10年間に当院で経験した小児顔面神経麻痺症例の検討
当院の研究責任者	所 属：市立奈良病院 小児科 責任者：大塚 敬太
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>小児顔面神経麻痺は Bell 麻痺が多く一般的に予後良好とされる。一方で成人と比較して顔面運動評価が困難で、電気生理学的検査の施行も難しい面がある。またその治療方針について、ステロイドや抗ウイルス薬の使用の是非も様々な報告があるのが現状である。</p> <p>また、小児顔面神経麻痺を専門とする施設は非常に少なく、当院で経過をみる中で麻痺の改善しない症例の診療を依頼しているが、そういった症例は後遺症を残すものが多い。顔面神経麻痺は治療が遅れることが転帰に影響する可能性があり、必要な症例は早期に専門病院での診察を依頼すべきものであるが、検査法や治療方針に決まったものがないためタイミングが難しい疾患でもある。</p> <p>近年当院で経験した小児顔面神経麻痺症例において不幸にも後遺症を残すものが続いた。そこで、過去 10 年間に当院で経験した小児顔面神経麻痺の症例を集積し、治療内容や転帰を検討することで当院における今後の診療方針に役立て、また専門病院に診察を依頼するタイミングを検討する。</p>
調査データの該当期間	2011 年 1 月～2020 年 12 月の 10 年間
本研究の対象及び方法 (使用する試料等)	電子カルテから診療情報を得る
試料・情報の 他の機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	電子カルテの ID 番号で管理する

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	TEL : 0742-24-1251 担当者 : 市立奈良病院 小児科 大塚敬太
備考	